

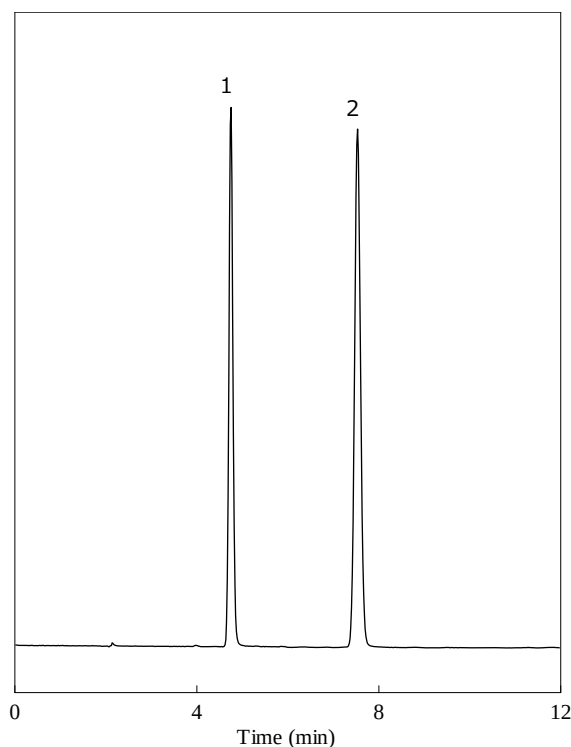
カルバドックス Carbadox

カルバドックスは動物医薬品として幅広く使われている合成抗菌剤です。その代謝物であるキノキサリン-2-カルボン酸が食品衛生法によって豚の筋肉や内臓などの残留基準値が設定されています。また、カルバドックスとその一部の代謝物は発がん性があり、問題となっています。ここでは、カルバドックスとキノキサリン-2-カルボン酸をHPLC分析しました。溶離液にはLC/MSに使用が可能なトリフルオロ酢酸(TFA)を用い、酸性条件で分析しました。検出下限は、カルバドックスは0.01 ppm (UV 300 nm)、キノキサリン-2-カルボン酸は0.01 ppm (UV 240 nm)程度でした。

Key words : カルバドックス 医薬品
Column : USP category: L1

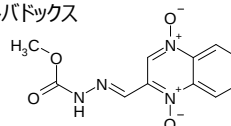
[Analytical conditions]

Column : L-column ODS (C18, 5 μ m, 12 nm), 4.6 mm I.D. $\times$ 150 mm L.; Cat. No. 622070
Eluent : CH₃CN/0.1%TFA in H₂O (15/85)
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40°C
Detection : UV 300 nm (0-6 min), UV 240 nm (6-12 min)
Injection volume : 10 μ L
System : -

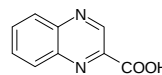


Sample:

1. Carbadox
カルバドックス



2. 2-Quinoxalinecarboxylic acid
キノキサリン-2-カルボン酸



10 ppm each